

学校法人相愛学園

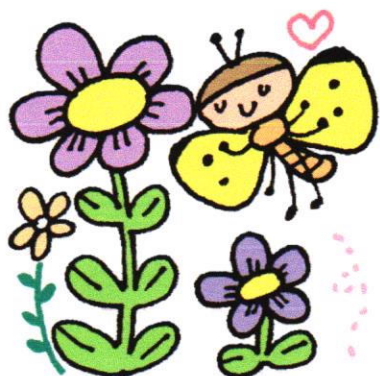
理事長 相 田 芳 久 殿

令和5年度

# 学 校 評 価 総 括 報 告

報告者 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子



理事長  
決 済



## 令和5年度 学校法人相愛学園焼津豊田幼稚園 学校評価の総括

園長 佐野正子

本年は、学校評価に関する事業を進めるにあたり、以下のような経過で作業を進めてまいりました。

1. 各学期における教育活動、学級・学年運営の振り返り(1～3学期)
2. 時期に応じた父母アンケートの読み取り、くみ上げ(1～3学期)
3. 職員各自による自己点検・評価の実施(R6.2.月上旬)
4. 保護者アンケートの実施(R6.2月上旬)
5. 各自己評価ならびに父母アンケートの結果を踏まえた施設管理者の自己点検・評価 (R6.2.20 理事長の確認決済)
6. 学校関係者評価委員会の実施(R6.2.27)
7. 学校関係者評価委員会からの報告(R6.3.12)
8. 学校評価の総括を理事長に提出

自己点検・評価の内容については2月26日に報告したとおりですが、その後に実施された学校関係者評価委員会からもプラス評価とともに、いくつかの改善点も指摘されました。来期への改善課題については以下のとおりです。

1. 一人一人の成長の詳細を追い、幼児個々へのより一層の配慮を求めていくと共に年間の保育活動を精査しながら、幼児の立場で細心の注意をはらって保育活動を進めていく
2. 保育の質の向上、教員として的人格統治等に向けて自己研鑽に努める。
3. 教職員が互いに教え合い学び合う時間を大切に、明るく元気でまとまりのあるチーム作りを目指す。

これらの事項については、令和6年度の課題として真摯に捉え、十分な対応を検討していきたいと考えます。

なお、安全管理、防災・防犯への対処については一定の評価をいただきましたが、大切な園児の命をお預かりする施設として、引き続きさらに万全を期して取り組んでまいりたいと思います。

以上、令和5年度の本園学校評価の総括として報告いたします。

# 令和5年度の教育活動等に対する学校評価書

令和6年3月15日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園長 佐野 正子



〃 学校関係者評価委員長 久保山なぎさ



- 1 幼稚園の教育理念** 建学の精神 『 あかるく こころゆたかに 』
- 教育目標
- 1 じょうぶなからだに
  - 2 いのちをたいせつに (思いやりのある子に)
  - 3 やる気のある子に
  - 4 よく考える子に

**2 本年度の重点目標**

- 『主体的な子どもの姿を目指して』という研修テーマに沿って、様々な活動や遊び・生活の中から、主体的な子どもの姿を見つけ育てていく。
- ECEQ研修を通して、園の良さを伸ばしたり、課題を解決するための方策を見つけていく。
- 学び合う時間を大切にしていくなかで、対話的な話し合いを重ね保育の質の向上を図っていく。

**3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果**

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評点	幼稚園としての視点	評点	意見・評価
教育活動や園行事の実施にあたり、内容や実施方法が子どもにとって充実したものとなっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナが5類となったこともあり、保育行事計画や保護者参加についても以前に近い形で実施できた。いろいろな経験を積み重ねることで子ども達が自信を持てるよう適切に関わる努力をすると共に、その都度省察を行い次に繋がるように改善を心掛けた。</li> <li>・ 8月よりコーディネーターの先生方のサポートを受けながら、ECEQ研修を重ねてきた。“園や子ども達の良さ”“大切にしていきたいこと”“課題の修正”等、時間をかけ多くのかんごを話し合い学ぶことができた。次年度には研修効果が表れるよう努</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価委員会当日、全クラスの保育の様子を参観させていただきましたが、フレンドリーな子ども達が多く元気良く挨拶をしてくれました。どの保育室も温かい雰囲気のでcor飾りで飾られ、その中で子ども達が幼稚園生活を楽しんでいる様子を感じました。また、先生方の声かけや見守る姿勢が子ども達の思いを大切にしている様子を感じ取ることができました。発達年齢に合わせての指導援助を心掛け、軸がしっかりしているからこそ年代ごと健やかに成長している姿が見られるのだと考えます。</li> </ul>